

現在の地区の取組み

- 在宅高齢者等給食サービス事業
- 友愛訪問事業
- 一人暮らし高齢者つどい事業
- 地区別福祉懇談会
- 世代間交流事業

- 年末年始見守り事業
- 防犯パトロール
- 自主防災組織
- 子育て支援広場



春のお花見会



一人暮らし高齢者集い事業

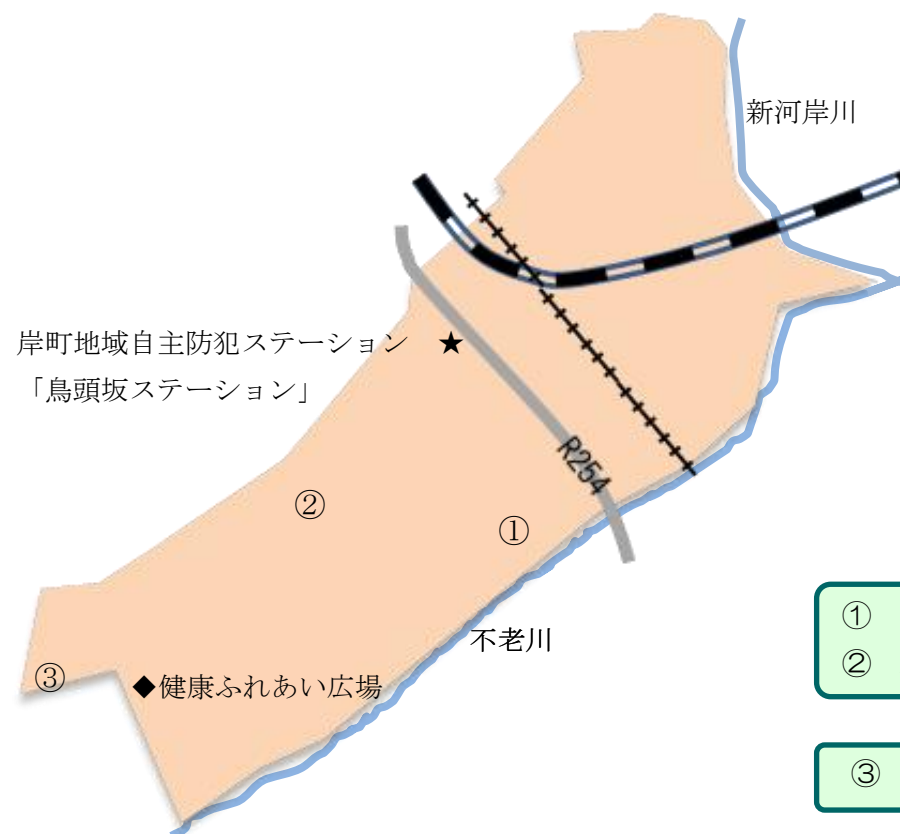


世代間交流事業



高齢者会食会

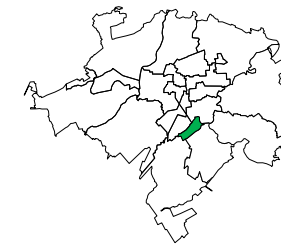
福祉施設等社会資源



- 自治会数…3
- 自治会集会所数…3
- 自主防災組織数…3
- 民生委員数…15
- 保健推進員数…3
- ボランティア団体数…1
- NPO団体数…0
- 老人クラブ…3
- 病院…0
- 一般診療所…2
- 歯科診療所…2

- ① すばるデイサービスセンター岸町
- ② ニチケアセンター岸町

- ③ 増美保育園



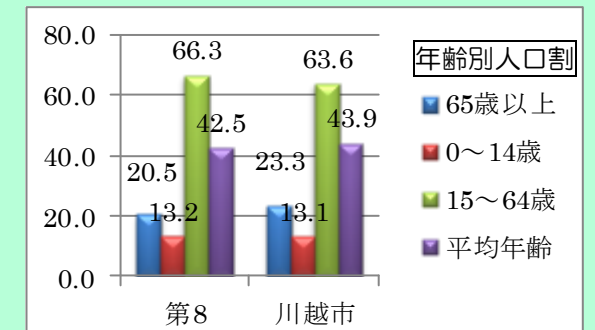
第8地区福祉プラン

地区の特徴

第8地区は、市の南部、川越の玄関口である烏頭坂（うとうざか）付近の東西に位置し、地区内には仙波河岸史跡公園、岸町熊野神社、岸町健康ふれあい広場等があり、住民の活発な交流の場となっている。また、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、烏頭坂ステーションを拠点とした住民による自主防犯活動に取り組み、「安全・安心のまちづくり」に努めています。

地域住民の状況

	第8地区	川越市
●人口	8,842人 (前年比-0.8%増)	348,595人
●世帯数	3,854世帯	148,007世帯
●高齢化率	20.5%	23.3%



※平成26年1月1日現在

地区の活動目標

目標1 地域のつながりを深めよう

目標2 第8地区に必要な福祉サービスを地域につくろう

エリアミーティングであげられた課題

- ◇ 近所付き合いが消極的になっている
- ◇ 子育てや安全な子どもの遊び場の確保など、子どもに関する課題がある
- ◇ 多様化する地域の福祉課題に対してサポートが難しい
- ◇ 団体役員等の担い手が少なくなっている
- ◇ 一人暮らしの高齢者が増えている
- ◇ 障がいのある方が抱える地域課題について関心が薄い
- ◇ 災害時の共助について不安がある
- ◇ 歩道の整備や移動手段の少なさなど、交通環境に問題がある

目標1 地域のつながりを深めよう

◎ あいさつのできる地域をつくろう

具体的な取り組み

- ▶ 一声運動を広めていきます。町内会の催しの案内等で訪問をする際には、必ずあいさつをするようにします。
- ▶ 子どもに対して、育成会や学校等と協力し、あいさつの大切さを率先して教えていきます。
- ▶ 自治会でみんなが気軽に集まる井戸端会議の場づくりを進めていきます。
- ▶ 自治会のイベントとして、地域住民が知り合うための世代間交流等の交流行事を企画していきます。

◎ 地域活動に若い人を呼び込もう

具体的な取り組み

- ▶ 自治会、民生委員が協力し、一人暮らしの高齢者の把握に努め、地域内での見守り体制の構築を図る検討を進めます。
 - ① 学校や育成会、地域が一体となって中学生等に地域活動のお手伝いを呼びかけていきます。
 - ② 自治会の活動内容を学校で教える場を設けていきます。
 - ③ 人が集まる場所において、自治会の活動内容等を紹介するビデオを見せて、地域活動への参加意識を高めるためのPRをします。そのビデオ作成にも多くの人に関わるようにします。
 - ④ 地区社協事業として実施している友愛訪問事業に、夏休み中の小・中学生を参加させ、自治会役員、民生委員児童委員、子どものペアーによる一人暮らし高齢者宅の訪問を実施します。
- ▶ 高齢化に伴い、年配の方が手本になって活動し、地域を充実させていきます。
- ▶ 子育てを地域でサポートしていくために、「大人の反省会」を設置します。

目標2 第8地区に必要な福祉サービスを地域でつくろう

◎ 誰でも気軽に相談できる場をつくろう

具体的な取り組み

- ▶ 地域住民の身近な拠点である鳥頭坂ステーションを活用します。
 - ① 各自治会は、鳥頭坂ステーション等を活用して、高齢者相談所の設置（相談員は自治会役員、市の専門担当者等）や緊急時サポート体制の充実、連絡カードの作成に取り組みます。
 - ② 鳥頭坂ステーションで、毎月3～4回日時を決めて相談（地域の困りごと）を受け付ける体制を整えます。
 - ③ 地区としてのサービスセンター（相談）を設置し、行政等の福祉サービスとのパイプ役を担う地域拠点を整備します。

◎ 地域の拠点や社会資源を活用しよう

具体的な取り組み

- ▶ 地区社協は、鳥頭坂ステーション、自治会館、神社等で地域住民が交流できる場をつくっていきます。
- ▶ お散歩マップ（地域包括支援センター、民生委員・児童委員似て作成）を活用し、高齢者が楽しく介護予防に取り組めるように呼びかけます。
- ▶ 地域活動のリーダー役である自治会長や民生委員・児童委員、保健推進員等に、福祉（認知症や精神障害等）についての研修を実施し、地域課題のフォロー体制づくりを行います。
- ▶ 現在ある自主防災組織を活かし、災害時要援護者の支援について自治会ごとに検討を進めていきます。